

矯正施設における性犯罪者処遇プログラムの具体的内容

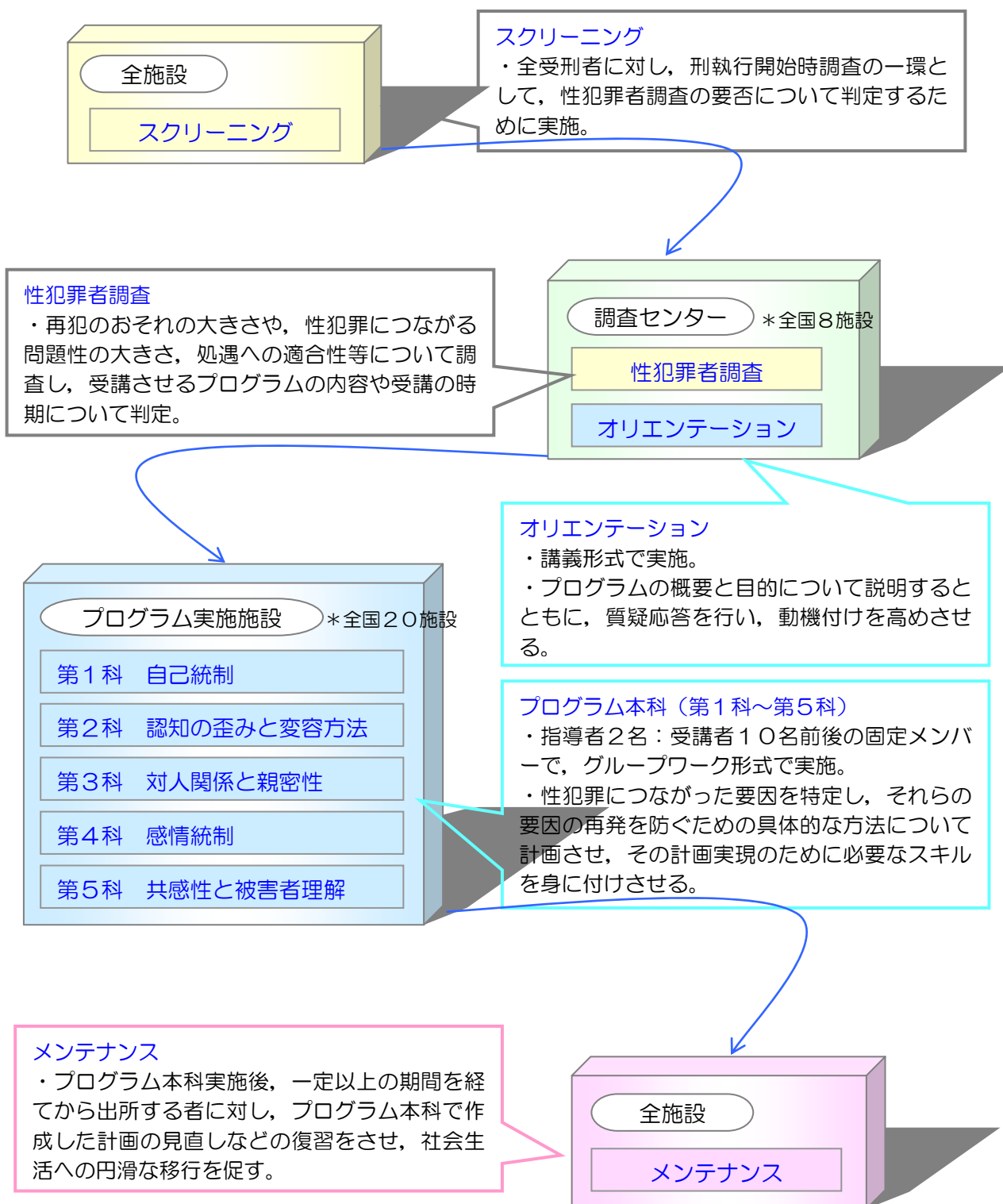
1 法施行前の性犯罪者処遇の問題点

- (1) 統一的・標準的なものが存在しなかった。
- (2) 監獄法には法律上の根拠がなく，受刑者に対して受講を強力に働き掛けることができなかった。
- (3) 個々の性犯罪者の問題性に合わせた指導が困難であった。
- (4) 指導者が不足していた。
- (5) 受講回数が少なく（ 6 ～ 12 セッション程度），十分な働き掛けができなかった。
- (6) 問題行動を変容させるための方法やメカニズムについての基本的な知識を付与する機会が不足していた。

2 法施行後の性犯罪者処遇プログラム

- (1) 性犯罪者処遇プログラム研究会における検討結果を踏まえて策定した，統一的・科学的な標準プログラムである。
- (2) 「刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律」（平成 18 年 5 月施行）により，プログラムが必要な受刑者に対し，受講を義務付けることが可能となった。
- (3) プログラムが必要な受刑者について，心理技官による専門的な調査を実施し，性犯罪に結び付いている問題性を特定した上で，必要な密度，内容を判定することとなった〔 3 を参照 〕。プログラムの内容としては，自己統制力とスキルの不足，認知の歪み，対人関係スキルの不足，感情統制力の不足，共感性の不足の 5 つを設定し，個々の問題性に応じて受講させることとしている〔 4 を参照 〕。
- (4) 平成 18 年度から教育専門官と心理技官の増員を得て，プログラム実施のための専従チームを特定施設に置き，指導に当たっている。
- (5) 最も長い高密度プログラムは，全部で 69 セッション（ 1 セッション当たり標準 100 分）あり，週 2 回の実施で 8 か月間受講させている〔 4 を参照 〕。
- (6) プログラムの基本的な構造として，前半の 30 分程度を授業（心理教育），その他の時間をグループワークに活用することとしており，受講者が基本的な知識や必要な情報を得た上で，自らの問題性等に向き合うことを促進するような構成としている〔 5 を参照 〕。

3 プログラムの全体像



4 プログラム本科の構造

科目	セッション数	高密度	中密度	低密度
第1科 自己統制	26 (12)	必修	必修	必修 (凝縮版)
第2科 認知の歪みと変容方法	11	必修	選択	-
第3科 対人関係と親密性	9	必修	選択	-
第4科 感情統制	8	必修	選択	-
第5科 共感性と被害者理解	10	必修	選択	-
小計	64	64	34~56	14

* 各セッションは標準 100 分。週 1~2 セッションを行う。

高密度：約 8 か月（週 2 回）

中密度：約 5.5 か月（週 2 回）

低密度：約 3.5 か月（週 1 回）

5 セッションの流れ

「第2科 認知の歪みと改善方法，主題4 認知の歪みとは」の例

9:00 ~ 9:15 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前回セッション後の報告 ・前回セッションの復習 ・今回のセッションで扱うことについて話し合う
9:15 ~ 9:45 授業 (心理教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知の歪み」について，指導者から説明 ・質疑応答により疑問点を解消
9:45 ~ 10:30 グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・「先輩にあいさつしたのに，仕事に熱中して応えてくれなかった」という事例の場合，自分だったらどのように考えると思うか話すよう促す。 受講者A：「自分だったら頭にくる」と話す。 受講者B：「相手がわざと無視していることもある」と賛同する。 受講者C：「自分だったらむしろ不安になる」と話す。 ・似たような場面を経験したことについて話すよう促す。 受講者D：「かつて職場で，自分が嫌われていると思い込んでケンカになったが，そうではなかった」という経験を紹介する。 受講者E：「相手のことが嫌いだと，同じことをされた場合でも頭にきやすい」と話す。 このように，グループでの話し合いを通して，同じ場面でも，人によって見方が異なることに気付かせたり，事例を通して「認知が感情に影響を与えること」について理解を深めさせる。
(この部分は，各セッションのテーマに応じ，グループワーク，個別発表，ロールプレイ等の方法により実施する。)	
10:30 ~ 10:40 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回セッションのまとめ ・次回までの宿題について説明
セッション終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・各自宿題に取り組む。